

事業所名

プレイハウスあゆむ

支援プログラム

作成日

6 年

10 月

7 日

法人（事業所）理念		「誰もが安心して暮らせるように」それが当たり前である社会へ、共にあゆむ。							
支援方針		安心して過ごせる居場所として、信頼関係を第一にしています。信頼する・信頼される実感ができることで、卒業後の社会でも不安なく生活できる力となるよう支援します。一人一人の気持ち聞き、考えながら、あゆむに通うことが楽しみになる、アットホームで親密なコミュニケーション支援をします。画一的な指導を行うのではなく、それぞれの日々の課題を、その日の様子や状態を把握したうえ、遊びや活動を通じ支援しています。							
営業時間		10 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	有り
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	○1日2回以上の定時検温と、定期的な心身の把握（学校・家からの心身の状況のヒアリング、看護師による健康チェック等）。 ○手洗い、食事、排泄、靴や衣服着脱など、日常生活動作の獲得のための支援（視覚化や治具等を利用）。 ○クールダウンを取り入れ、落ち着いて生活できるよう支援。 ※看護師を配置し、医療的ケアの必要なお子さんも受け入れしています。							
	運動・感覚	○食事や活動時などの日常生活の中での姿勢保持。 ○触覚・平衡感覚・固有感覚のバランスを意識した感覚運動遊びやストレッチ・マッサージなど。 ○日常の中での距離感の獲得。							
	認知・行動	○五感を刺激しながら認知機能の発達を促す。 ○天気、気温、日付などの認知形成。 ○季節の変化への興味などの感性を育む外出やイベントの実施。 ○1日のスケジュール確認による予定の認知。 ○ゲーム形式の遊びなどを通じて適切な行動への支援。							
	言語 コミュニケーション	○話し言葉や手振り、カード、具体物でのコミュニケーションで、意思伝達・確認ができるよう支援。 ○帰りの会で、上記を使って今日の活動と気持ちの発表と受容。 ○集団活動・1対1活動によるコミュニケーション能力の獲得。 ○言語聴覚士による専門的支援。							
	人間関係 社会性	○安心できる場で、信頼関係を築く支援。 ○一人遊びから並行遊び、協同遊び、ルール遊び等で社会性・対人関係を意識して生活できるよう支援。 ○自分の感情を認識できるよう、行動の振り返りなどを支援。							
家族支援		○学校～事業所～自宅送迎を含め、保護者の就労を支援。 ○家族の心身ともの休息時間の確保。 ○送迎時の申し送りや、日々の様子等を写真入りで連絡・記録し情報共有。 ○担当者会議等で、家族・関係者との連携。				移行支援		○近隣の商業施設への買い物や見学。 ○図書館の読み聞かせ会や公民館や他事業所の行事への参加。 ○法人内生活介護事業所との交流・合同活動。 ○職員による成人のサービス事業所見学。	
地域支援・地域連携		○担当医との情報連携。 ○担当者会議等で、関係者・家族との情報連携。 ○広島市自立支援協議会地域部会へ参加し、地域の他事業所や他サービス事業所との交流・情報連携など。 ○こども食堂からの年に数回のお弁当提供。				職員の質の向上		○自立支援協議会へ参加し地域での連携や勉強会へ出席。 ○任意団体に加盟し、県域での多職種連携や勉強会、行事等への参加。 ○社外研修等の受講促進（費用負担や振替休日等） ○支援のための毎日の職員間でのミーティング。 ○定期的な全体会議による運営面や働き方等の課題抽出と話し合いによる意思統一や職員間連携。	
主な行事等		○季節のイベント（餅つき、豆まき、お花見、母の日・父の日プレゼント制作、プール・水遊び、夏祭り、ハロウィン、クリスマスなど）。 ○行事や活動に合わせたクッキング（おやつ・ランチ）。 ○法人内で畑作業と、法人外での収穫体験。							